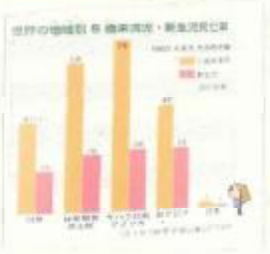


みんなが健康でいるために

去年、ニコースで、新型コロナウイルスがまんえんし、感染死者が増えてしまい、病院では「病床や機械が足りない」ということを知りました。また、SDGの学習を始めてから、世界には病院に行きたくても様々な理由で行けない人がたくさんいることも知りました。このように、十分な治りようを受けられないうちが病院に行けたり、健康でいれるためににはどうすればいいのでしょうか。

世界には、しっかり予防をしていけば死なずにすむような病気でも、予防が行き届かず、十分な治りようを受けられなくて亡くなってしまふ人がまだまだたくさんいます。下の、「世界の地域別五歳未満児・新生児死亡率」のグラフを見ると、日本が一番少なく、アフリカや後発途上国がとても多いことが分かります。また、その多くの原因が、予防や治りようが可能な感染症、出産時合併症、新生児敗血症によるものです。

このまま問題を解決しよつとしないければ、これからも病院に行かず、十分な治りようを受けれられず亡くなってしまう人が増え続けてしまふと思います。そうならないためには、世界中の人々が協力して、だれもが病防に行けて治りようを受けられたり、予防ができるようにつにすることが必要だと感じます。また、この問題を解決するためには、私たち一人一人



が病気にかからないように予防をすることも  
大事なことでと思います。例えば、手洗い・う  
がい・消毒の習慣を身に付けることなら、私  
たちにもできると思っています。

確かに、今すぐ世界中の感染症や病気で  
困っている人をゼロにしたり、ワクチンを開  
発したりすることは、とても簡単なことでは  
ないかもしれませんが、でも、私たちにもでき  
ることを少しずつ行っていけば、病気なの  
に病院に行けない人が減ったり、病気にかかっ  
てしまつ人が少なくなり、SDGの目標3の「すべ  
ての人に健康と福祉を達成することがで  
きるのではないかと私は思います。